水道水の保存期間についての検証実験　【経過第３報】

平成27年6月1日から開始した検証実験は、２ケ月が経過しました。

酷暑が続く毎日となりましたが、冷蔵庫に保存したペットボトルの水道水にはまだ必要な塩素が残っていました。

また、常温で保存した水道水は塩素が０でも、細菌の繁殖がほとんどなかったことから、生活用水での利用は十分可能であると考えられます。

さあ、冷蔵庫にある水道水がどこまで長持ちするのか、注目です。

<条件A>

市販されているミネラルウォーターのペットボトルと、ホームセンターで購入できるポリタンクです。

容　器	ペットボトル2ℓ	ポリタンク10ℓ

<条件B>

部屋で普通に置いておく場合と、冷蔵庫に入れて保存する場合です。冷蔵庫には、ペットボトルのみ入れることにしました。

保存場所	常温倉庫	冷蔵庫（約5℃）

<条件C>

保存する時に、空気中の雑菌の有無が影響を及ぼすことが予想されますので、容器に空気が入っているか否かで分けてみました。

密閉状態	容器に空気が入っている	できるだけ空気をいれない

検証の途中経過と計画

		冷蔵庫ペットボトル		常温ペットボトル		常温ポリタンク	
		空気なし	空気あり	空気なし	空気あり	空気なし	空気あり
スタート	H27.6.1 実験開始						
1日経過		–	–	–	塩素 0.40 mg/l	–	塩素 0.35 mg/l
2日経過		–	–	–	塩素 0.40 mg/l	–	塩素 0.30 mg/l
1週経過	常温のポリタンク（空気あり）塩素残留濃度　ゼロ	–	–	塩素 0.20 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0 mg/l
2週経過	常温のペットボトル、ポリタンクすべて塩素残留濃度　ゼロ	–	–	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	–
4週経過（1ヶ月後）	H27.6.29	塩素 0.30 mg/l	塩素 0.25 mg/l	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個
8週経過（2ヶ月後）	H27.7.27	–	塩素　0.2mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	–	一般細菌 1 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
12週経過（3ヶ月後）	H27.8.24	塩素 一般細菌	塩素 一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌
16週経過（4ヶ月後）	H27.9.24	–	一般細菌	–	一般細菌	一般細菌	一般細菌
20週経過（5ヶ月後）	H27.10.19	–	一般細菌	–	一般細菌	一般細菌	一般細菌
24週経過（6ヶ月後）	H27.11.16 実験終了	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌